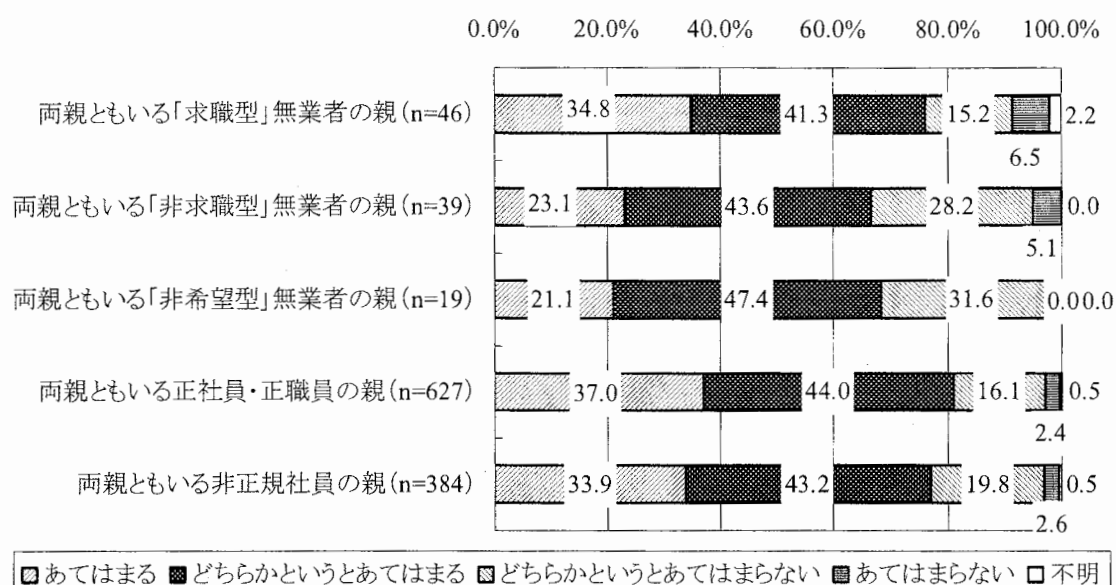


図3-2-10 各類型の親 子どもを外で遊ばせたかどうか



4 子に対する考え

ここでは、各類型の親の子に対する考えや希望を、子育てについての考え、現状の子に対する認識、希望する独立時期の面から検討した。

(1) 無業者の親は子離れ進まず、「非希望型」の親は子の一生に対する責任感強い

各類型の親が子を育てるにあたってどう考えているか（親Q2）、子についてどう考えているか（親Q7）の設問で「そう思う」と「どちらかというと思う」と回答した者の割合の合計を見る（図3-2-11）。

「親は子どもの一生に責任を持つ義務がある」と思う割合は、いずれの類型でも過半数に上っており、特に「非希望型」の親では73.7%と他の類型よりも高い。

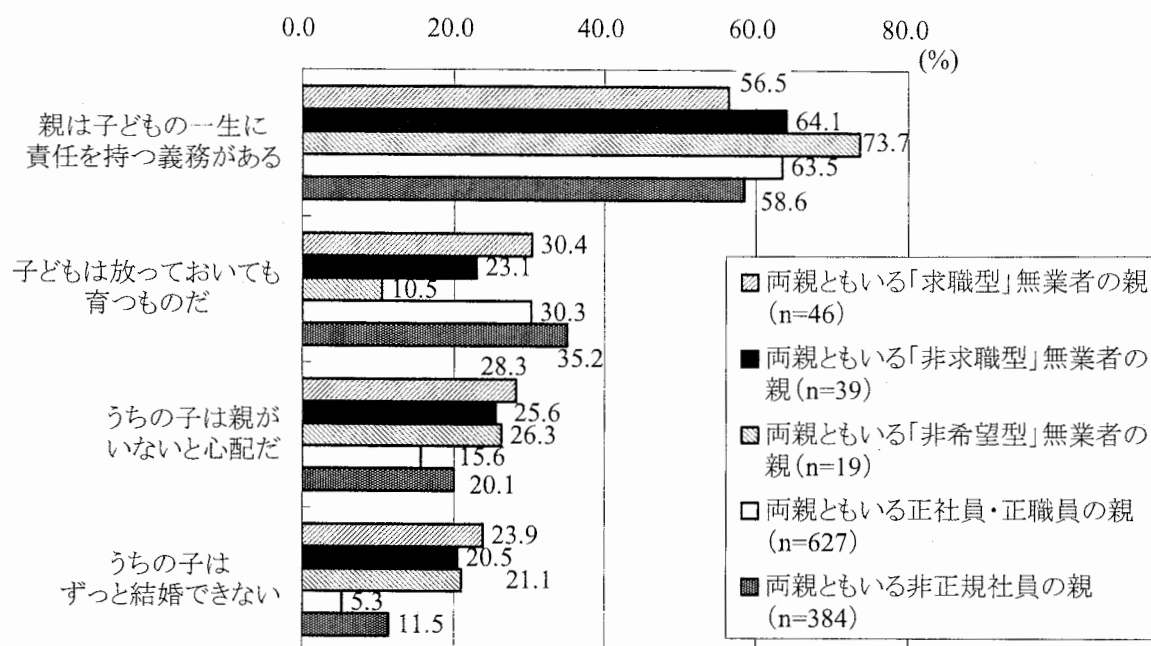
「子どもは放っておいても育つものだ」と思う割合は、非正規社員の親（35.2%）が最も高く、次いで「求職型」の親（30.4%）、正社員・正職員の親（30.3%）となっていた。なお、「非希望型」の親では10.5%にとどまっていた。

「うちの子は親がいないと心配だ」と思う割合は、無業者の親で25~28%程度と有職者よりも高くなっていた。

「うちの子はずっと結婚できない」と思う割合は、無業者の親で20%を超え、有職者よりも高くなっていた。

これらをあわせると、無業者の親は子に対する心配が尽きず、特に「非希望型」無業者の親は子にしっかりとかまひ続けようとする傾向がうかがえる。

図3-2-11 各類型の親 子育てについての考え方・子についての認識



(2) 「非求職型」と「非希望型」の親は子の独立について考えたことがない割合が高い

各類型の親が子どもに家を出て独立してほしいと考えているかどうか、またその時期（親Q14）をみると、いずれの類型でもおおむね「結婚したら」及び「自活できるようになったら」と回答する割合が高かった。なお、「非求職型」と「非希望型」の親は、「特に考えたことはない」とする割合が23.1%、31.6%と他の類型と比較して高くなっていた（表3-2-11）。

表3-2-11 各類型の親 子の独立についての考え

	合計	中学校を卒業した	高校を卒業した	大学（短大・専ら）を卒業した	就職したら	自活できるようになったら	結婚したら	できただけ長いく	特に考えたこと	不明
類型計	1,115	2	11	15	62	234	568	41	172	10
	100.0	0.2	1.0	1.3	5.6	21.0	50.9	3.7	15.4	0.9
両親ともいる「求職型」無業者の親	46	0	0	0	10	11	17	1	7	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	21.7	23.9	37.0	2.2	15.2	0.0
両親ともいる「非求職型」無業者の親	39	1	1	2	4	10	10	2	9	0
	100.0	2.6	2.6	5.1	10.3	25.6	25.6	5.1	23.1	0.0
両親ともいる「非希望型」無業者の親	19	0	1	0	1	3	7	1	6	0
	100.0	0.0	5.3	0.0	5.3	15.8	36.8	5.3	31.6	0.0
両親ともいる正社員・正職員の親	627	0	3	9	27	108	353	29	92	6
	100.0	0.0	0.5	1.4	4.3	17.2	56.3	4.6	14.7	1.0
両親ともいる非正規社員の親	384	1	6	4	20	102	181	8	58	4
	100.0	0.3	1.6	1.0	5.2	26.6	47.1	2.1	15.1	1.0